

2026年度 一般選抜（前期）A日程 「国語」（2026年1月22日実施）

合否判定の方法 《学力試験／国語・英語》

各学科傾斜配点で換算した合計得点を高得点順に評価する。

合格者最低点（国語・英語 合計点 300点満点）

文学部		人間総合学部	
国語国文学科	94.0	児童文化学科	144.0
フランス語フランス文学科	124.0	発達心理学科	150.0
英語英文学科	146.0	初等教育学科	130.5

※各学科傾斜配点で換算後のものであり、補欠線合格者を含まず

《国語》（100点満点 【一】必答 【二】【三】いずれか選択 国語国文学科受験者は【三】必答）

判定時には各学科傾斜配点で換算した

出題意図および配点

【一】現代文①（60点）

漢字の書き取り・漢字の読み：大学での学習を行うにあたって最低限知っておいてほしい漢字が書けるか、またそうした漢字を読めるかを判断する。

選択問題：やや長めの論理的文章の内容を正確に把握できる読解力と、最も適切な選択肢を選び出せる論理的思考力を判断する。

記述問題：やや長めの論理的文章の内容を設問に沿って適切に述べることのできる表現力を判断する。

【二】現代文②（40点）

漢字の書き取り・漢字の読み：大学での学習を行うにあたって最低限知っておいてほしい漢字が書けるか、またそうした漢字を読めるかを判断する。

選択問題：やや長めの論理的文章の内容を正確に把握できる読解力と、最も適切な選択肢を選び出せる論理的思考力を判断する。

記述問題：やや長めの論理的文章の内容を設問に沿って適切に述べることのできる表現力を判断する。

【三】古文（40点）

出題意図

大学における文学研究や日本文化の深い理解に不可欠な古典文法や語彙に関する基礎的な知識を確認する。また、古典文学に対する知識、文章全体の構成・主題を捉える力を確認する。

問題および正答

[赤本オンライン](#)を参照

長文出典

大問	著者・编者・発表者	書籍の場合、作品名	出版年度	出版社名
一	今福 龍太	「現在の歴史」を生きる	2024/11/1	朝日新聞社
二	俵 万智	生きる言葉	2025/4/20	新潮社
三	不明	宇治拾遺物語	1996/7/10	小学館